

教科目標		1学年の目標				
		(1) 楽しく美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を育てる。 (2) 対象を見つめ感じ取る力や想像力を高め、豊かに発想し構想する能力や形や色彩などによる表現の技能を身に付け、意図に応じて創意工夫し美しく表現する能力を育てる。 (3) 自然の造形や美術作品などについての基礎的な理解や見方を広げ、美術文化に対する関心を高め、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を育てる。				
月	題材名	時数	学習内容	学習のねらい	評価項目	道徳関連項目
前期 18時間	4・5 【B鑑賞】 オリエンテーション 美術って何だろう？	1	小学校図画工作科の体験などについて生徒どうして話し合い、これからの美術学習とのつながりについて考えるきっかけとする。 自分が「美術」だと考えるものの例を持ち寄って意見を交換する活動や、作家の仕事や言葉などを手がかりに、美術のもつさまざまな意義について考え、美術に対する自分の見方、考え方を育てる。	「美術とは何か」を自分なりに考えることができる。  作品や作者の言葉から感じ取ったことを話し合うことができる。	・授業観察 ・感想プリント	1-(3) 自立・自主 誠実・責任
	【A表現】 文様、飾りの小宇宙	4	日本をはじめさまざまな国や時代で作られてきた文様の美しさを味わい、その構成要素やつくり方の特徴などを知る。 日本的な繰り返しのパターンなどを応用した文様をつくる。	身近な日用品や衣服などから文様を見つけることができる。 形や色の組み合わせなどを工夫して構想を練ることができる。 使う目的や意図、場所などを考えてあらわすことができる。  日本や諸外国の文様のよさや美しさを味わうことができる。	・行動観察 ・授業記録 ・作品 ・感想プリント	4-(9) 伝統の継承 文化の創造
	【A表現】 絵文字がしゃべりだす	9	・文字からイメージを広げイラストと組み合わせた絵文字を、自由に構想しながらつくる。 文字のもつ意味と視覚的な形の可能性を探究し、見る人に強い印象を与える文字をデザインする中で、感情や必要な情報を伝えるデザインの働きを学ぶ。	楽しく情報を伝える文字に関心をもつことができる。 文字の形や意味などから発想を自由に広げることができる。 材料や用具の生かし方を考え、工夫してあらわすことができる。 お互いの作品を鑑賞し、意図や工夫した点を話し合うことができる。	・行動観察 ・授業記録 ・作品 ・感想プリント	
	【B鑑賞】 体験しよう！ 美術館	1	美術館の役割やさまざまな活動、情報収集の方法などについて知り、実際に美術館を訪れて鑑賞するための基礎学習とする。 夏休みに実際に美術館に行き、レポートなどにまとめる。	美術館の役割を知り、普段の学習に活用する意識を持つことができる。  美術館で調べたことをまとめ、感想をまとめることができる。	・学習プリント ・感想プリント	
8・9	【A表現】 見て描く楽しみ	4	身近なものの中に潜む美に気づき、愛着をもって描こうとする気持ちを持つ。  楽しんで描くための用具の基本的な使い方を理解する。  描いた作品を鑑賞し、生活の中に美術があることの意味を感じさせる。	スケッチを通して感じたままにあらわすことを楽しむことができる。 身近なものを見つめ、感じ取ったことを大切にすることができる。 材料や用具の生かし方を考え、工夫してあらわすことができる。  意図的に、お互いの作品を鑑賞することができる。 意図や工夫した点を話し合うことができる。	・行動観察 ・授業記録 ・作品 ・感想プリント	1-(3) 自立・自主 誠実・責任
後期 17時間	10 【B鑑賞】 風神雷神、 自然と人と	1	風神・雷神の屏風絵を鑑賞する。 彫刻と屏風絵を比較したりして、日本の美術のもつ表現の豊かさを感じる。 生徒の心の中を風神・雷神をイメージする。	受け継がれてきた独自の美意識や創造性に関心をもつことができる。  風神・雷神に込められた人々の思いを感じ取り、話し合うことができる。	・行動観察 ・授業記録 ・感想プリント	4-(9) 伝統の継承 文化の創造
	10・11 【A表現】 形を丸ごと 感じてみよう	12	身近な自然物や食品などの形や色を観察して、立体でつくり彩色する。 対象のもつ特徴や質感を感じ取るとともに、試行錯誤しながら表現方法を探究する。 でき上がった作品を通して交流を楽しむこともできる。	身近にあるものを見つめ直し、特徴や美しさに気づくことができる。 形や色、質感を捉え、構想を練ることができる。 材料や用具の生かし方を考え、工夫してあらわすことができる。 お互いの作品を見せ合い、表現の工夫について話し合うことができる。	・行動観察 ・授業記録 ・作品 ・感想プリント	
	12・1 【A表現】 絵や立体を 動かしてみたい	10	一コマずつ変化させていくアニメーションづくりの基本を通して、動きの感覚をつくりだす映像メディアの特質を学ぶ。 動きの検討を通して、描く力やつくる力を総合的に生かして表現する楽しさを味わう。	連続した動きをあらわす表現に関心をもつ。 アイデアをスケッチにまとめ、動きを工夫して構想を練る。 形や色を変化させ、動きを確かめながらつくる。 動きのおもしろさや工夫した点に注目して鑑賞する。	・行動観察 ・授業記録 ・作品 ・感想プリント	
	2・3 【A表現】 その人らしさを捉える	3	クローキーやスケッチを通して、人物の体の形や姿勢、表情などの特徴をつかんで表現する力を育てる。 美術にあらわされたさまざまな人物の表現から学び、絵や彫刻などを通して、対象とする人間に対する見方を表現する。	身近な人の雰囲気を感じ取り、特徴を見つけることができる。 その人の表情やしぐさなどに注目して、発想を広げることができる。 クローキーでおおまかに形を捉えることができる。 表現の工夫を味わい、作者の気持ちを感じ取ることができる。	・行動観察 ・授業記録 ・作品 ・感想プリント	
3 【B鑑賞】 自然と向き 合う日本の美	1	風神・雷神の由来や図像の伝承、屏風絵など、自然を取り入れた日本の伝統的な美術について学ぶ。 自然や季節のイメージが感じられるものを生徒自身に探させて日本文化の特質について考える。	自然や季節の美しさを取り入れた日本の美術に関心をもつことができる。 形や色などの使い方に注目して、作品の世界を味わうことができる。	・行動観察 ・感想プリント	4-(9) 伝統の継承 文化の創造	
		45				
学習のアドバイス		<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の準備物を忘れずにきちんと揃える。</li> <li>・授業に集中して取り組む。</li> <li>・途中であきらめず、最後まででいいいに作業をすすめる。</li> <li>・作品等の提出物を期日までに出す。</li> <li>・美術作品や学校の友だちの作品をしっかりと鑑賞し、授業の目標に沿って具体的に感想文を書く。</li> </ul>				